

Menou＊いんばすけっとの活動強化を目指して

～組織を担う女性農業者の育成～

1 活動のねらいと背景

令和7年1月、印旛地域で活動してきた2つの女性農業者組織「姫農-Menou」と「いんばGar-net」が組織再編し、新組織「Menou＊いんばすけっと」（会員19名）が設立されました。農業事務所では、経営参画・社会参画を実践する女性農業者が集う組織として、経験豊富なベテラン農業者と次世代を担う若手農業者との相互研さんを促し、個々の経営力向上を図るとともに、地域農業の未来を支えるリーダーの育成と組織活動の更なる充実化を目指し、活動を支援しています。

2 普及活動の経過

(1) 1人ひとりが主役となる組織づくり

メンバー自らが主体となって活動できるよう、役員と連携しながら、効果的な活動体制の構築に向けて支援しました。定例会では、役員・会員の垣根を超えて活発に意見を出し合える環境づくりを心掛け、寄せられた多様な要望を活動方針に反映させることで、組織全体で同一目的を持って活動に取り組める体制を整えました。



定例会による活発な検討

(2) 共同プロジェクト活動の実施

農業経営の向上や地域農業の振興を目的に、共同プロジェクト活動への実践支援を行いました。地域の保育園や小学校での食育活動、農産物や活動PRに向けた情報発信、販売力向上に向けたマルシェの開催、経営参画事例の視察や他地域の女性農業者組織との交流など、多岐にわたる活動を実施しました。各プロジェクトには、それぞれリーダーを配置し、活動計画の立案や関係機関との調整を会員主体で進められるよう支援しました。



小学校での食育活動

(3) 事例発表の機会創出

「Menou＊いんばすけっと」の活動周知と女性農業者組織の役割や重要性について関係機関に理解促進を図るため、印旛地域男女共同参画地域セミナーでの事例発表を行いました。



力を合わせて会報紙を作成

3 活動による変化と動き

(1) 主体性が組織を動かす新体制の確立

メンバー1人ひとりが主役として輝ける組織を目指し、役員との連携のもと、定例会を活動の起点とし、多様な要望を吸い上げ、活動方針へ反映させる体制が確立しました。「一人の力では困難な課題も、全員の力を集結すれば必ず形にできる」という強い想いを組織のエネルギーに変えることで、メンバー自らの意思で動き出す力強い組織へと進展しています。

(2) 女性農業者のリーダーシップ能力の育成

共同プロジェクト活動を通じて、会員自らがリーダーとして、企画から調整までを主体的に担うことで、次代をけん引するリーダーシップ力が育まれ、組織全体の運営能力が飛躍的に向上しました。「想いを形にする」というメンバーの熱意が新たなアイデアを次々と具体化するサイクルが生まれ、組織全体がかつてない勢いを持って力強く動き出しています。

(3) 関係機関への活動理解の促進

印旛地域男女共同参画地域セミナーでの事例発表を通じて、女性農業者組織の役割や重要性を広く発信したことで、「Menou＊いんばすけっと」の活動への理解が進み、多くの関係機関から共感と協力の声が寄せられました。その結果、マルシェの新規出店場所の拡大や他団体とのコラボイベントの提案、食育ボランティアの情報提供など、多様な活動機会の創出につながりました。



地域セミナーでの事例発表



印旛の農産物をマルシェで販売&活動PR

4 今後の課題と活動

印旛地域の多様な農業経営や幅広い年代の女性農業者が集い、学習や情報交換を通じて共に学び合い、手を取り合いながら「地域の女性農業者が活躍する組織」を目指し、活動の更なる充実を図ります。今後も、地域に点在する女性農業者の交流の場としての機能を強化するとともに、個々の経営参画や社会参画を推進していきます。

5 担当グループ名

成田グループ、中部グループ、八街・富里グループ、北西グループ